

乳癌 自家組織再建クリニカルパス 様

項目	入院日（手術前日）	手術日	手術翌日	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～9日目	手術後10日目	手術後11日目以降～退院（15日目）まで
観察	看護師が訪室し、体温、血圧、症状を観察します。	傷の出血、腫脹、排液の性状について観察します。						
安静	制限はありません。	ベッド上で安静です。		手術後3日目朝までベッド上安静です。	腹や脇に入っている管を体につけて歩行します。最初は看護師と一緒に歩きます。	体調に合わせて病棟内を歩行できます。		
食事	21時以降より絶食となります。 1例目の手術の方は、水も飲めません。うがいはいつでもできます。	帰室後3時間より、水が飲めるようになります。 	朝から食事が食べられます。	0時から絶食、7時から水も飲めません。朝食分の内服は可能です。 帰室後3時間より、水分と食事が可能になります。	朝から食事が食べられます。			
清潔	シャワーに入れます。爪を切ります。 		全身清拭をします。 検温の時に看護師が傷を確認します。				すべての管が抜けたらシャワー浴に入れます。	
排泄		手術中より尿の管がはいってきます。			歩行ができたら尿の管を抜きます。	トイレに行くことができます。		
診察処置	ご自身で手術後に必要なバストバンドとマイクロポアを、地下1階コミュニケーションセンターで事前に購入し準備してください。	胸や腹、脇に管が入ってきます。 胸の創を看護師が観察します。	看護師が腹や脇に入っている管の量を観察します。毎朝、医師が診察を行います。 感覚の神経（知覚神経）が再生してくるため、しびれ、ひりひりする感じや痛みが生じることがあります。これらは回復に伴うものであり心配いりません。		看護師が創部、管の量の観察をします。 毎朝、医師が診察を行います。		胸や腹、脇に入っている管を抜きます。	退院後は創部管理として傷に貼付されているマイクロポアを3日に1回張り替えをし、3ヶ月継続してください。傷の管理終了のタイミングは外来通院時に医師と相談しましょう。
検査	Ri検査があります 採血があります		採血があります	必要に応じて採血などを行います。				
薬物療法	必要な方は睡眠薬を飲む事ができます。薬剤師が薬の説明に伺います。	痛みがある場合は痛み止めを使用できます。看護師に伝えてください。	痛みがある時は、痛み止めを内服します。 					退院後に鎮痛薬が必要な際は、退院時に処方ができます
点滴		術後、背中に痛み止めの点滴が入ります（3日目まで）。	術後5日目まで抗生剤の点滴を行います		背中の痛み止めの点滴を抜きます。			
リハビリ	※術後7日目以降上肢の運動と浮腫予防の指導を行います。							
説明	入院中や手術に関する注意点を看護師が説明します。ICUに持参する荷物をまとめます。 （貴重品は家族に預けてください）	手術後はICU病棟に転室し、形成外科へ転科となります。	創部の痛み、吐き気、不安、疑問などありましたら、医療者に伝えてください。	ICUから手術室に向い、胸に入っている管を抜く手術をします。その後、元の病棟に移動となります。	痛みや創部の違和感、異常、体調不良を感じたら我慢せずに看護師に伝えてください。		身体に入っている全ての管が抜けます。	傷が落ち着いたら退院です。
目標	手術したところからの出血がない。							
	病状がわかり、納得して治療が受けられる。	痛み、はきけ、不安、疑問などを医療者に伝えられる。			薬の必要性を理解した上で服用ができ、痛みがコントロールできる。		傷や傷の周変に異常がなく、発熱なく過ごす事ができる。	

*症状、状態によっては予定通りにいかない場合もあります。
 *何かご心配な事は、外科外来へ電話でお問い合わせください。
 代表電話:053-474-2222 月～金8:30～17:00
 上記以外の時間帯は聖隷浜松病院救急外来へ連絡をお願いします。